

達成度評価システム

による大学院教育実質化

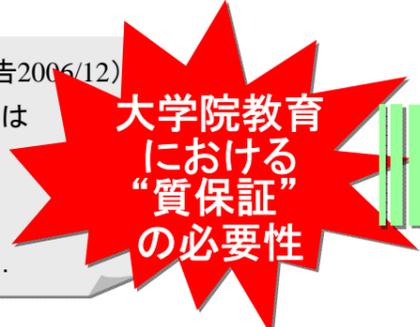
—問題解決型リスク工学教育のアウトカム評価への適用—

大学院システム情報工学研究科
筑波大学リスク工学専攻

□背景

「生かされぬ博士課程の力」(経団連報告2006/12)

- 「修士課程より優れている」との回答はわずか18%.
- 「専門知識・専門能力」は優れるが、「コミュニケーション力」、「協調性」、「問題設定・解決能力」に問題点あり.



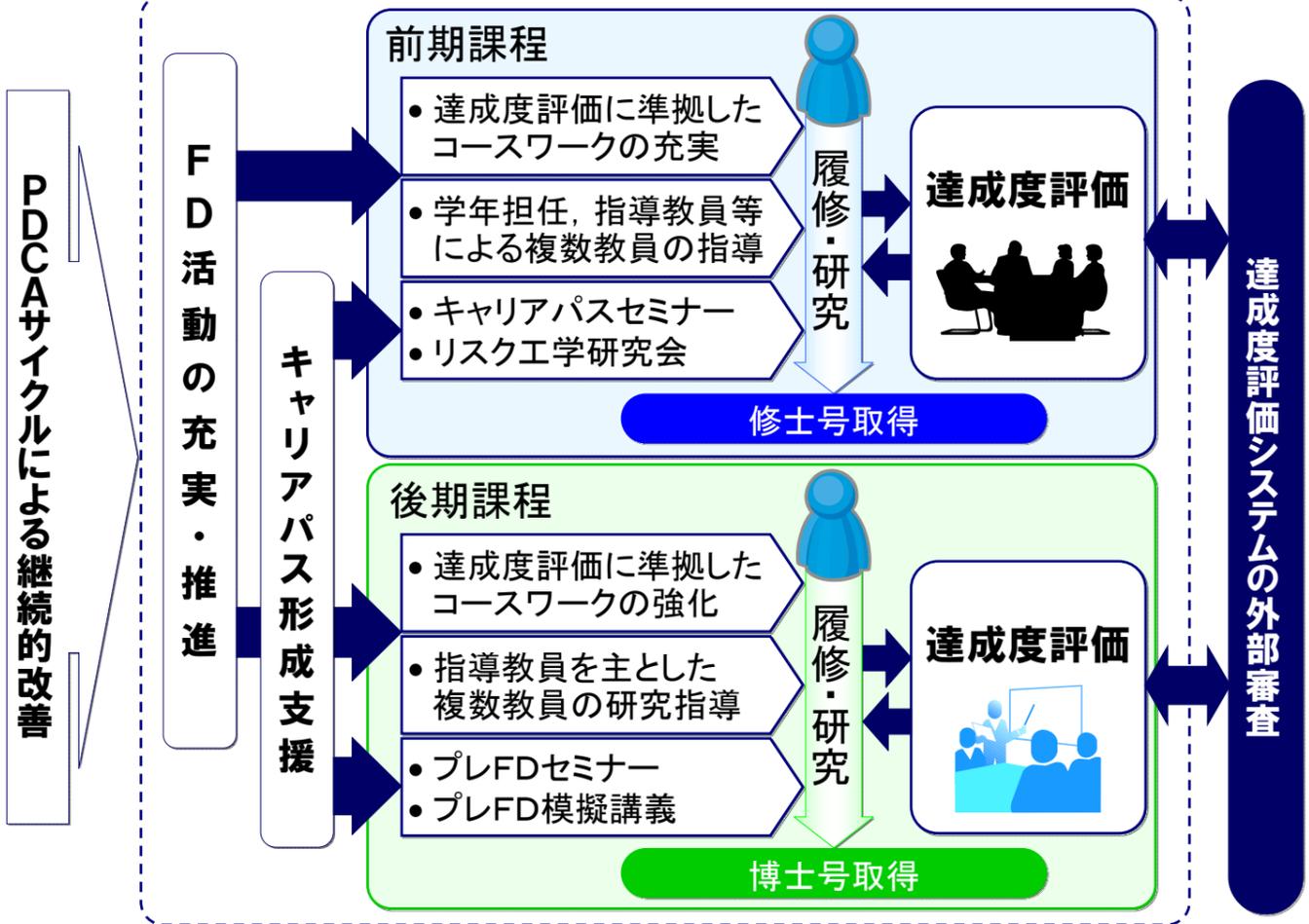
□目的

大学院教育の実質化

- 問題解決能力と国際競争力の強化
- 大学院教育への達成度評価システムの導入
- 外部機関専門家による達成度評価システムの審査と学生のキャリアパス形成支援

□事業の全体像

事業期間:平成19年度～平成21年度



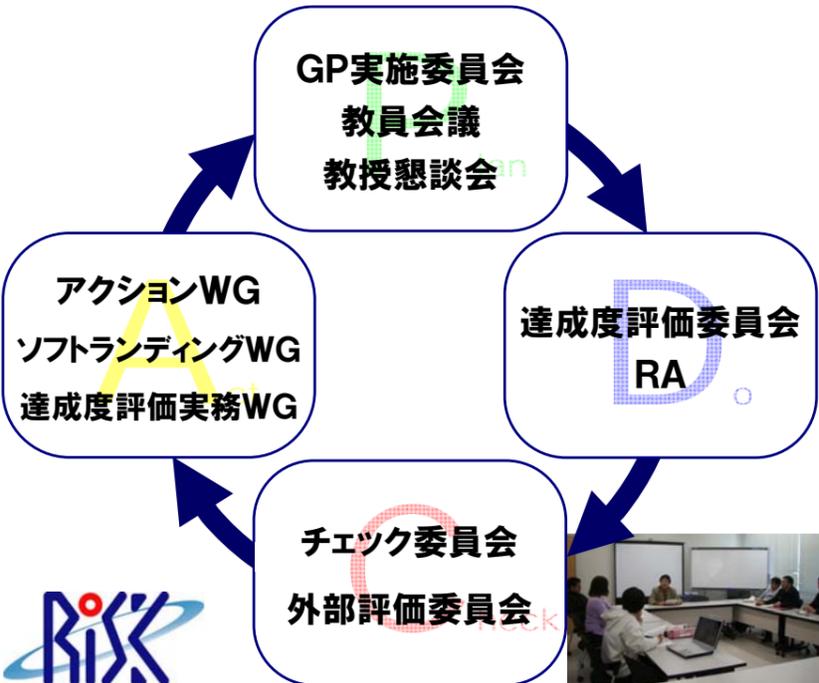
□専攻内専門分野

- トータルリスクマネジメント
- サイバーリスク
- 都市リスク
- 環境・エネルギーリスク

□達成度評価項目

- ① 専門基礎
- ② 関連分野基礎
- ③ 広い視野
- ④ 現実問題の知識
- ⑤ 問題設定から解決まで
- ⑥ プレゼンテーション・コミュニケーション能力
- ⑦ 国際的通用性
- ⑧ 学術的成果

□実施体制: PDCAによる継続的改善



□「達成度評価」のスケジュール

年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	M1 前期課程1年 入学時オリエンテーション	学生ポートフォリオ提出 (以後毎月)						直前オリエンテーション	第1回達成度評価委員会			第2回評価委
2年目	M2 前期課程2年							直前オリエンテーション	第3回達成度評価委員会		第4回達成度評価委員会	
3年目	D3 後期課程3年							直前オリエンテーション	第5回達成度評価委員会		第6回達成度評価委員会	

